



平成 29 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社インターアクション  
代表者名 代表取締役社長 木地 英雄  
(コード番号 7725 東証第二部)  
問合せ先 代表取締役専務 木地 伸雄  
電話番号 045-788-8373

**平成 29 年 5 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 28 年 10 月 12 日に発表いたしました平成 29 年 5 月期第 2 四半期(累計)業績予想と、本日発表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 29 年 5 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 5 月期 第 2 四半期(累計)連結業績予想数値との差異

(平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,294	174	158	101	10.69
実 績(B)	2,455	263	236	198	20.89
増減額(B-A)	160	88	77	96	
増減率(%)	7.0	50.6	49.0	95.4	
(ご参考)前第 2 四半期実績 (平成 28 年 5 月期第 2 四半期)	2,485	158	161	104	10.77

〈差異の理由〉

売上高につきましては、I o T 関連事業における CCD・C-MOS イメージセンサ向け検査用光源装置、瞳モジュールの販売が堅調に推移いたしました。また、海外液晶パネルメーカーが見込みを上回る設備投資を行ったことにより、精密除振装置の販売が堅調に推移いたしました。そのため利益率の高い製品が増加したことに伴い、利益につきましても予想を上回りました。

以上の結果として、売上高 2,455 百万円(前回予想の売上高 2,294 百万円に比べ 7.0%の増加)、営業利益 263 百万円(前回予想の営業利益 174 百万円に比べ 50.6%の増加)、経常利益 236 百万円(前回予想の経常利益 158 百万円に比べ 49.0%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益 198 百万円(前回予想の親会社株主に帰属する四半期純利益 101 百万円に比べ 95.4%の増加)となりました。

2. 平成 29 年 5 月期 通期連結業績予想の修正（平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,242	597	561	398	41.91
今回修正予想(B)	5,043	597	554	439	46.21
増減額(B-A)	△1,199	0	△7	40	
増減率(%)	△19.2	0	△1.3	10.6	
(ご参考)前期連結実績 (平成 28 年 5 月期)	5,078	467	443	310	31.95

〈修正の理由〉

当社は、平成 28 年 12 月 5 日に発表いたしましたとおり、連結子会社である株式会社 B I J の全株式の売却を予定しております。当売却を 2 月末に行うことを前提とし、当初、平成 29 年 5 月期通期連結業績予想に含んでおりました株式会社 B I J の平成 29 年 3 月から 5 月末までの計画分（売上高 1,355 百万円、営業利益 71 百万円）の減収・減益の影響を考慮し、上記のとおり平成 29 年 5 月期通期連結業績予想を修正いたします。

売上に関しましては 1,199 百万円減収であるものの、営業利益に関しましては、平成 29 年 5 月期第 2 四半期連結業績が当第 2 四半期業績予想に比べ上回ったことにより、株式会社 B I J の全株式が 2 月末に売却されたとしても平成 29 年 5 月期通期連結業績予想に含んでおりました同社の平成 29 年 3 月から 5 月末までの計画分を補えると見込んでおります。そのため据え置きのままの予想となりました。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測値と異なる場合がございます。

以上